

令和7年度

事業報告書

社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会

◆目 次◆

1 法人の組織整備と運営強化

(1) 組織・運営に関する事	1
(2) 財務に関する事	5
(3) 人材確保・育成に関する事	6
(4) 広報・啓発に関する事	8

2 地域福祉推進体制の充実・発展

(1) 小地域福祉活動の推進	10
(2) 地域支えあい体制づくり	15
(3) ボランティア活動の推進	19
(4) 防災と地域福祉の連携	21

3 生活支援の充実

(1) 総合相談機能の取り組み	23
(2) 介護予防の取り組み	26
(3) 権利擁護と自立支援の取り組み	26
(4) 在宅福祉サービスの取り組み	28
(5) 介護サービス関連の取り組み	30
(6) 障害福祉サービス関連の取り組み	32
(7) 児童福祉サービス関連の取り組み	34

1 法人の組織整備と運営強化

(1) 組織・運営に関すること

各種会議・委員会の開催により意思決定体制を確保し、法人運営の透明性と適正性を向上させました。あわせて、法人間連携や情報共有の強化により地域福祉推進の基盤整備を進めました。さらに、情報公開や ICT 活用、業務標準化を推進するとともに、人材育成や職場環境整備、リスクマネジメント及び BCP 策定により、組織の対応力と持続的な運営体制の強化を図りました。

◆住民の福祉意識の醸成と参加・協働の推進並びに法人運営体制の充実

《実施事業・取り組み》

- ・ 理事会、評議員会、各種委員会等会議運営
- ・ 役員、評議員、各種委員等選任
- ・ 各種会議、委員会の機能強化
- ・ 意見集約、反映の仕組みづくり

《取り組みから見られた効果》

各種会議・委員会の開催により、予算・決算、規程改正、役員選任等の重要事項について適切な意思決定が図られ、法人運営の適正性と透明性の確保につながる効果が見られるとともに、地域福祉活動計画の進捗管理及び評価を通じて、事業推進の基盤整備が進められる効果も見られました。

《取り組みから見られた課題》

各種会議・委員会への出席率のばらつき、また、地域課題や事業効果の検証、進捗管理の実践的展開への対応が今後の課題としてあげられます。

◆関係機関との連携強化と社会福祉法人ネットワークによる公益的取り組みの推進

《実施事業・取り組み》

- ・ 法人連絡会事務局運営
- ・ 法人間連携
- ・ 研修会開催
- ・ 幹事会開催

《取り組みから見られた効果》

市内社会福祉法人間の情報共有と連携体制が強化され、地域福祉向上に向けた基盤整備が進むとともに、幹事会において実務的な情報共有が図られ、法人間の協働意識の醸成と公益的取り

組みの推進体制の充実につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

法人間の連携や情報共有は進んでいるものの、法人毎に差があり、地域資源を公益的取り組みへつなげる体制整備や実効性向上の仕組みづくりが今後の課題としてあげられます。

◆透明性の高い事業運営と分かりやすい情報公開の推進

《実施事業・取り組み》

- ・ 情報公開
- ・ 透明性の確保
- ・ 分かりやすい情報提供
- ・ ウェブサイト活用方法の改善
- ・ 事業と財源の連動理解

《取り組みから見られた効果》

情報公開規程の制定により公開ルールが明確化され、法人運営の透明性と公平性の基盤が整備されるとともに、情報開示やウェブ公表により説明責任の履行が進み、さらには、法人指導監査を通じて運営・会計の適正性と改善意識の向上が図られる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

情報公開体制の整備は進みましたが、情報公開実務への対応について経験の蓄積が今後の課題としてあげられます。

◆事業評価の推進と業務効率化による安定的で持続可能な経営体制の強化

《実施事業・取り組み》

- ・ 業務及び各種計画の現状把握・分析
- ・ 業務効率化
- ・ ICT 導入・活用検討
- ・ マニュアル整備、見直し及び周知
- ・ 職員面談

《取り組みから見られた効果》

スプレッドシートによる進捗管理で計画の見える化と情報共有が進み、組織的な事業推進が強化されるとともに、計画に基づく予算編成や各種ツール活用により業務効率化を図り、業務の標準化と属人化防止を進める効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

業務効率化の基盤整備は進みましたが、予算編成やツール活用の部署間における理解や習熟度の格差解消が今後の課題としてあげられます。

◆組織内連携の強化による組織力の向上

《実施事業・取り組み》

- ・組織内における部署間及び横断的連携
- ・テーマ別検討組織、事業検討部会機能強化
- ・会議機能強化及び協議内容の充実化
- ・課題共有と意見集約の促進

《取り組みから見られた効果》

所属長会議や各検討部会の定期開催により情報共有と意思統一が進み、部署間連携が強化されるとともに、計画の評価・見直しや次期計画策定、新規事業検討も進み、横断的協議体制の機能により事業推進力の向上につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

組織横断的な協議体制は整備されたものの、部会間で取り組み等に差があり、機能発揮に課題が見られ、協議内容の本会事業への反映が今後の課題としてあげられます。

◆人材の確保・育成とハラスメント防止による安心して働ける職場環境の整備

《実施事業・取り組み》

- ・ハラスメント実態の把握・分析
- ・相談体制の整備と周知
- ・防止ルール of 策定・運用
- ・研修による意識・対応力の向上
- ・相談対応力向上

《実施事業・取り組みから見られた効果》

アンケート実施により職員意識や職場環境の実態把握が進み、課題の可視化につながるとともに、ポスター等での周知によりハラスメントへの理解と対応意識が高まり、相談しやすい環境整備と職場環境改善の基盤づくりが進む効果が見られました。

《実施事業・取り組みから見られた課題》

意識醸成は進みましたが、アンケート回収率が十分とは言えず、職員への周知による効果検証も不十分であり、実効性ある周知と相談しやすい環境整備の強化が今後の課題としてあげられます。

◆リスクマネジメントの推進による事故防止と災害・感染症に強い組織づくり

《実施事業・取り組み》

- ・リスクマネジメント推進
- ・リスク対応力の強化（研修・フォロー）
- ・危機管理体制強化
- ・情報セキュリティ対策の強化

《取り組みから見られた効果》

災害対策要綱の精査により対応方針が整理され、組織の災害対応力が強化されるとともに、各種マニュアル整備で対応手順の標準化が進み、さらには感染症対策の体制整備により平時からの備えと対応意識が高まり、リスク管理基盤の強化につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

マニュアル整備は進みましたが職員への周知・理解促進が不十分であり、定期見直しや統一的な管理体制、更新・運用の強化が今後の課題としてあげられます。

◆BCPの策定と見直しによる災害・感染症に強い業務継続体制の構築

《実施事業・取り組み》

- ・法人 BCP 策定、検証
- ・事業所 BCP の検証・見直し
- ・業務継続体制整備
- ・研修・訓練による実効性向上

《取り組みから見られた効果》

自然災害と感染症に対応した BCP を策定し、業務継続の方針と対応手順を明確化することで組織の危機対応力が向上するとともに、内容を継続的に再確認することで実効性のある備えが進み、平時からの体制整備とリスクマネジメント意識の向上につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

BCP の策定は完了しましたが、職員への周知や理解が不十分であるとともに、備蓄品は検討

段階にあり、訓練や定期的な見直し、継続的な検証・改善の仕組みづくりが今後の課題としてあげられます。

(2) 財務に関すること

外部研修等により経営分析や業務改善の知識を習得し、収支・進捗の把握と共有を通じて課題の可視化と改善意識の醸成を図りました。併せて、予算への反映により効率的な運営を推進しました。さらに、本会会費の維持や新規開拓、助成金・寄附金の活用により財源の多角化を進め、安定的な事業運営と運営基盤の強化を図りました。

◆収支の均衡と事業評価の推進による効率的な経営の実現

《実施事業・取り組み》

- ・経営分析、人材育成
- ・財務指標分析
- ・収支分析（サービス区分別）
- ・収入ベース予算編成

《取り組みから見られた効果》

職員の経営的視点が向上し、効率的運営と収支均衡を意識した経営管理の定着が図られる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

外部研修の受講対象職員が限定的であり、四半期評価は実施されているものの分析の深度や活用が弱く、収支把握は進む一方で具体的な改善策の実行に結びついていません。収入確保や中長期視点の経営管理が今後の課題としてあげられます。

◆活動財源の確保と事業評価の充実による持続可能な経営の推進

《実施事業・取り組み》

- ・協力企業・団体開拓及び企業・団体のリスト化
- ・財源の理解促進
- ・事業の評価及び分析強化並びに既存事業見直し

《取り組みから見られた効果》

会費額は減収となりましたが、新規開拓等により減少幅は最小限にとどめるとともに、助成金や寄附金、共同募金配分金等とあわせて財源の多角化を図り、事業の安定実施と経営基盤の強化

につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

会費の増収への取り組みや、助成金の活用が限定的であり、情報収集と拡充が必要となっており、安定的な財源確保のため、クラウドファンディング等、財源のさらなる多角化が今後の課題としてあげられます。

◆社協会員加入促進の啓発

《実施事業・取り組み》

- ・会員加入促進及び啓発
- ・理解促進のための事業の見える化
- ・企業等への働きかけ

《取り組みから見られた効果》

会費額は減収となりましたが、会費の重要性について周知を行い、地域とのつながりが継続され、本会事業への理解促進と地域福祉の推進が図られるとともに、賛助・特別会員の新規開拓により、事業運営の安定性につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

会費のさらなる加入率向上への働きかけや、本会への理解促進に向けた働きかけや広報の強化が今後の課題としてあげられます。

(3) 人材確保・育成に関すること

内部・外部研修を通じて職員の知識・技術向上を図り、災害対応や対人援助など専門性の強化を進めました。また、相談支援体制の強化やアウトリーチの推進を通じて実践力向上を図り、関係機関との連携強化により対応力の底上げをしました。さらに、大学・専門学校からの実習生受入れを行い、教育機関との連携強化と将来の人材確保に向けた基盤整備を進めました。

◆職員の専門性向上と人材育成の推進による組織力の強化

《実施事業・取り組み》

- ・人材育成体制整備
- ・メンター制度検討
- ・受講プログラム作成

《取り組みから見られた効果》

内部・外部研修を通じて、職員の知識・技術の習得が進み、地域福祉、災害対応、対人援助まで専門性が向上する効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

研修により一定の知識習得は進んでいますが、参加者に偏りがあり、組織全体への共有や浸透が不十分であり、受講後の振り返りや業務への活用、成果の見える化も十分とはいえず、継続的な育成体制の整備が今後の課題としてあげられます。

◆人事考課制度の整備と処遇改善による働きやすい職場環境の推進

《実施事業・取り組み》

- ・人事考課制度検討
- ・昇級制度見直し
- ・業務量把握

《実施事業・取り組みから見られた効果》

他法人の人事考課制度を把握し、中長期の人員配置や昇任の見通しに関する基礎を整備するとともに、職員ヒアリングを通じて意識や希望を把握し、組織運営や処遇改善検討の基盤強化につなげる効果が見られました。

《実施事業・取り組みから見られた課題》

他法人の取り組みの把握は進みましたが、本会に適した内容の具体化には至っておらず検討の深化、役職定年者の増加に伴う年齢構成の偏りやポスト確保、世代交代への対応が今後の課題としてあげられます。

◆相談支援体制の強化とアウトリーチ推進による人材育成の充実

《実施事業・取り組み》

- ・相談受付体制充実及び相談対応強化
- ・アウトリーチ推進
- ・関係機関連携強化
- ・人材育成推進

《取り組みから見られた効果》

地域福祉コーディネーターを中心に関係機関との連携が強化され、相談体制の充実と対応力

向上が図られるとともに、サロン支援により住民のつながりを見守り機能が高まり、アウトリーチや多様な相談手段により早期発見・対応体制が整備され、職員の連携力向上にもつながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

相談体制の整備は進みましたが、窓口や相談手段の周知・利用促進が不十分で強化が必要であり、アウトリーチによる把握手法や継続支援の仕組みづくりに加え、職員の専門性向上など人材育成の充実が今後の課題としてあげられます。

◆人材育成事業（大学生等実習等受入（資格取得・職場体験））

《実施事業・取り組み》

- ・資格取得を目指す実習生の受け入れ
- ・職場体験の受け入れ

《取り組みから見られた効果》

大学・専門学校からの実習生受入れにより多面的な理解が促進され、職員の指導力向上にもつながり、さらには教育機関との連携強化により、将来的な人材確保と地域福祉の担い手育成の基盤づくりが進む効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

実習生受入は継続されていますが、受入部署も限定的で、組織全体での体制強化と実習機会の検討と指導者負担の軽減が今後の課題としてあげられます。

（４）広報・啓発に関すること

「社協だより」を年６回全戸配布するとともに、ウェブサイトを活用して福祉情報の発信を実施し、多様な主体への情報提供や相談窓口の周知、情報収集・整理を進めました。また、パンフレット作成に向けた検討を行い、視覚資料の活用を通じて活動内容の理解促進と周知方法の検討を進めました。これらにより、地域住民への情報提供の充実と事業理解の促進を図りました。

◆相談しやすい地域づくりの推進のための福祉情報の収集・発信の強化

《実施事業・取り組み》

- ・広報誌（社協だより）発行及びウェブサイトを活用しての情報発信
- ・多様な主体（障害者・外国人等）への情報提供
- ・相談窓口周知

- ・情報収集、整理

《取り組みから見られた効果》

広報誌「社協だより」を年6回全戸配布し、ウェブサイトとあわせて福祉情報を発信するとともに、紙媒体で幅広い層に対応し、ウェブサイトでは即時性を活かした情報提供を行うことで理解促進と関心向上を図り、地域住民の参加促進と事業認知度の向上につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

広報誌とウェブサイトによる情報発信は継続していますが、広報誌は一方向でニーズ把握に課題があり、ウェブサイトも発信量や頻度の強化が必要であり、特に若年層へのリーチ拡大や双方向性の強化が今後の課題としてあげられます。

◆社協活動の報告

《実施事業・取り組み》

- ・パンフレット作成検討
- ・パンフレット活用検討

《取り組みから見られた効果》

パンフレットの作成検討や視覚資料の活用により内容の整理や会議での理解促進の基盤づくりが進み、本会内部における活動報告の質の向上につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

パンフレットは検討段階にとどまり周知や連携強化が進んでいない状況であり、表現・説明手法の標準化、職員間のスキル差の解消が今後の課題としてあげられます。

2 地域福祉推進体制の充実・発展

(1) 小地域福祉活動の推進

地域サロンや世代間交流、座談会、福祉大会等を通じて住民同士のつながりづくりと支え合い活動を推進しました。また、福祉協力員やボランティア等の担い手育成、関係団体との連携強化、助成事業や用品貸出による活動支援を行い、小地域における地域福祉活動の活性化と基盤強化を図りました。

◆住民ニーズの把握と事業評価の推進による重点事業の明確化と事業の最適化

《実施事業・取り組み》

- ・ 本会事業に関するアンケートの実施
- ・ 座談会の開催（本所・支所で開催）
- ・ 地域福祉推進委員会等での実態の把握と評価
- ・ 既存事業の整理・検証・分析（福祉用具貸出事業の見直し）

《取り組みから見られた効果》

実施事業に対するアンケートや座談会、関係機関からの情報収集により地域ニーズや課題の把握体制が強化されるとともに、計画に基づく進捗管理と評価・分析により事業の効果と課題の可視化が進み、見直しを通じて重点事業の明確化と資源の有効活用が図られ、効率的な事業運営につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

アンケート実施等によりニーズ把握は進んでいますが、データの分析や事業への反映手法に課題が見られ、評価結果を迅速に改善や重点化へ結び付ける仕組みの強化が今後の課題としてあげられます。

◆地域ニーズに対応した新規事業の推進と重点事業の検討

《実施事業・取り組み》

- ・ 事業検証及び重点事業設定並びに新規事業検討
- ・ 部会における各種検討及び部署間連携

《取り組みから見られた効果》

地域福祉事業検討部会での検討により、コミュニティ活性化や社会貢献活動推進、支援者の対応力向上、学校連携強化の方向性が整理されるとともに、事業目的の明確化により課題解決に向けたアプローチが共有され、本会と関係機関、団体等との連携基盤の整備と組織的な検討体制の

強化につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

事業の目的整理は進んでいますが、内容や手法、役割分担が不明確で事業化に課題があり、また効果測定や評価方法も未整備であり、具体的な計画と体制整備が今後の課題としてあげられます。

◆地域活動への参画による福祉情報の共有支援とコミュニティ活性化の推進

《実施事業・取り組み》

- ・地域コミュニティ推進
- ・地域サロン、子育てサークル支援
- ・地域情報、福祉情報の共有
- ・アプローチ強化及び連携促進

《取り組みから見られた効果》

移動型児童館への協力や地域サロンへの参画等を継続し、子育て支援団体等との信頼関係を構築するとともに、情報共有と連携体制が強化され、ニーズ把握に基づく支援を実施し、コーディネーターの支援により活動の活性化と安心感が高まり、継続的支援の基盤づくりが進む効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

共催事業やサロン参画により関係づくりは進みましたが、地域全体への波及や参画内容に課題があり、連携の役割分担や継続体制も不十分で、情報の整理・共有と支援への反映の体系化、職員参画と人材育成の強化が今後の課題としてあげられます。

◆座談会等を通じた地域課題共有と支え合いの地域づくり推進

《実施事業・取り組み》

- ・多機関連携によるテーマ別座談会実施
- ・意見交換、課題共有
- ・交流機会創出及び居場所づくり
- ・地区カルテ作成及び地区カルテ活用

《取り組みから見られた効果》

座談会により、住民や関係機関の顔の見える関係が構築され、課題やニーズの共有と相互理解が進むとともに、対話を通じて地域福祉を自分事と捉える意識が醸成され、主体的な関わりが促

進まれ、継続実施により対話の場が定着し、相談しやすい関係と早期発見の基盤づくりが進む効果が見られました。

《実施事業・取り組みから見られた課題》

支所間で実績に偏りがあり、先行支所のノウハウ共有も不十分で全体への波及が見られておらず、実効性や参加者の調整や体制強化、企画力向上が今後の課題としてあげられます。

◆サロン活動・ボランティア活動の担い手支援と交流促進による活動基盤強化

《実施事業・取り組み》

- ・交流及び情報交換機会の創出
- ・活動者及び担い手の育成並びに確保
- ・活動者及び担い手のモチベーション維持の取り組み

《取り組みから見られた効果》

各支所で地域特性を活かした事業を展開し、交流機会の創出と参加促進が進むとともに、事業や交流会を通じて理解促進や関係づくりが進展し、ボランティアや関係団体との連携により主体的な取り組みと支え合い意識が醸成され、地域福祉基盤の強化につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

各支所で多様な事業が実施されていますが、内容や回数、参加規模に差があり、継続性や展開力に課題があり、成果やノウハウの共有も不足しているため、平準化と情報共有、持続的な仕組みづくりが今後の課題としてあげられます。

◆福祉大会開催を通じた地域福祉の学びと啓発の推進及び多世代参画による地域づくりの促進

《実施事業・取り組み》

- ・社会福祉大会の開催
- ・他団体と協働した企画運営
- ・福祉理解促進、学習機会創出

《取り組みから見られた効果》

第3回社会福祉大会の開催により、功労者表彰を通じて活動の共有と理解促進、担い手の意欲向上が図られるとともに、福祉作品コンクールで子ども世代の関心を高め、多世代参画を促進し、講演では、地域福祉を自分事と捉える意識が醸成され、支え合いの理解深化と地域づくりの推進につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

社会福祉大会は学びの機会となりましたが、参加者が関係者中心で住民への広がりには課題があり、さらに若者の主体的関与や多世代交流も十分ではなく、対話や課題共有の機能も限定的なため、参加しやすさや双方向性、多世代参画の強化が今後の課題としてあげられます。

◆世代間交流の推進と住民参画による多世代共生の地域づくりの促進

《実施事業・取り組み》

- ・地域交流及び相互理解促進のための世代間交流事業実施
- ・開催の意義目的の共有及び啓発
- ・アンケート調査

《取り組みから見られた効果》

本所・石巻支所では継続的な実施により参加者を確保し、世代間のつながり形成と住民参画が促進されるとともに、河南支所においては陶芸活動を通じ交流機会が生まれ、参加のきっかけづくりに寄与し、地域の実情に応じた多世代の場が形成され、相互理解や地域への関心向上につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

実施回数や参加規模に地域差があり、さらに活動内容や参加状況の整理・効果検証不足から多世代の主体的参画への働きかけも不十分であり、平準化と参加拡大、継続体制の整備、見える化の推進が今後の課題としてあげられます。

◆学校地域連携強化とコミュニティスクール推進に向けた体制整備

《実施事業・取り組み》

- ・学校地域連携強化推進
- ・コミュニティスクール推進に向けた取り組み
- ・情報共有、理解促進及び連携体制構築

《取り組みから見られた効果》

石巻市コミュニティスクール推進フォーラムへの参加により、学校運営協議会と地域学校協働本部の連携理解が深まるとともに、先進事例を通じて学校・地域連携の具体像を共有し、知識習得と意識醸成が進み、体制整備や関係機関との連携強化に向けた基盤づくりに寄与する効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

フォーラム参加で知識は得ましたが、組織内共有や活用が不十分で、具体的取り組みや体制整備に結び付いておらず、連携の具体化や役割整理も不足しており、今後は成果共有と行動計画化、関係機関との協議による体制構築が今後の課題としてあげられます。

◆福祉協力員の設置による地域福祉の担い手育成と連携体制の強化

《実施事業・取り組み》

- ・小地域での福祉活動の推進役、見守り役としての福祉協力員の設置
- ・福祉協力員に対しての研修等の実施

《取り組みから見られた効果》

各支所での会議や研修、交流事業により、福祉協力員の役割認識と活動意欲が向上するとともに、民生委員や関係団体との連携も強化され、つなぎ役としての機能が高まり、情報共有とネットワーク形成が進み、見守りや支え合いの基盤づくりと担い手育成につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

各支所で会議や研修は実施されていますが、回数や内容に差があり、担い手育成や連携体制にばらつきが課題となっていると同時に、継続的な育成や役割明確化、情報共有も不十分であり、継続的育成と連携・共有体制の強化が今後の課題としてあげられます。

◆地域福祉団体・子育て活動団体及び福祉学習への助成による活動支援の推進

《実施事業・取り組み》

- ・助成事業実施による地域福祉団体及び子育て活動団体支援
- ・地域活動の促進

《取り組みから見られた効果》

助成事業により地域福祉団体や子育て団体の継続的活動が支えられ、安定運営と参加機会の確保が進むとともに、給食サービス助成により高齢者見守りも継続され、支え合いの維持に寄与し、福祉学習助成により子どもの学びと交流が広がり、地域福祉の活性化と担い手育成につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

助成制度は継続活用されていますが、新規参入や活動拡充につながりにくく、福祉学習も内

容や連携に差があり、成果の可視化と共有の仕組みづくりが今後の課題としてあげられます。

◆地域福祉活動の活性化に向けたイベント・レクリエーション用品貸出事業

《実施事業・取り組み》

- ・各種用品の貸出
- ・住民交流支援及び地域福祉活動支援
- ・活動環境整備支援

《取り組みから見られた効果》

イベント・レクリエーション用品の貸出件数が増加し、地域活動の活性化が進むとともに、各種団体の事業実施を支援することで交流機会の創出と参加促進につながり、住民同士のつながり強化と地域福祉の推進に寄与する効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

貸出件数は増加していますが、利用団体や地域に偏りが見られ、全体への波及に課題があり、貸出制度の周知や利用促進が不十分なことから、活用状況の把握と効果検証、持続的な運用体制の強化が今後の課題としてあげられます。

（２）地域支えあい体制づくり

福祉学習や出前講座、企業連携の推進により理解促進と参画機会を創出しました。福祉団体支援や見守り活動、コーディネーター配置により相談支援と連携体制を強化しました。さらに協議体運営や公営住宅等支援を通じ、ニーズ把握と資源活用を進め、地域で支え合う仕組みづくりを推進しました。

◆福祉学習の推進による地域理解の促進と支え合い意識の醸成

《実施事業・取り組み》

- ・福祉作品コンクール実施
- ・ボランティア講師育成
- ・福祉学習機会創出及び環境整備

《取り組みから見られた効果》

福祉学習の推進により、講話や体験、当事者講師の参画や交流を通じて児童・生徒の理解が深まり、福祉を身近に捉える意識が醸成されるとともに、世代間交流により地域とのつながりも強化され、学びが家庭や地域へ波及することで関心向上と共生社会の基盤づくりに寄与する効果

が見られました。

《取り組みから見られた課題》

福祉学習は各校で実施され理解は進んでいますが、内容や機会に学校・地域差があり均質化が課題であり、また、体験中心で継続的関与や実践行動への発展も不十分なため、担い手の育成・確保や周知強化、学びの全体への波及が今後の課題としてあげられます。

◆福祉団体支援を基盤とした地域支援者の連携強化と相談支援体制の充実による地域福祉活動の推進

《実施事業・取り組み》

- ・各種福祉団体支援及び活動者支援
- ・地域活動創出支援及び連携強化支援
- ・ネットワーク構築

《取り組みから見られた効果》

ひとり暮らし高齢者のつどいや訪問活動により孤立防止と見守り体制が強化されるとともに、民生委員等との連携により情報共有と支援ネットワークが進み、日常的な訪問や相談で早期把握・対応が可能となり、支え合い意識と相談しやすい体制づくりが進展する効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

見守りや交流機会は確保されていますが、継続的関わりに課題があり、担い手不足による基盤弱体化も懸念され、相談支援体制の認知・活用も不十分となっていることから、連携強化と体制構築が今後の課題としてあげられます。

◆福祉理解の促進に向けた出前講座の充実と関係機関との連携推進

《実施事業・取り組み》

- ・出前講座実施による福祉学習機会創出
- ・地域及び企業との連携強化
- ・出前講座メニュー見直し周知の強化

《取り組みから見られた効果》

出前講座を依頼に応じて実施し、福祉や介護、認知症予防等の学びの機会を提供することで理解促進と関心向上につながるとともに、身近なテーマにより日常生活への気づきが得られ、参加意識の醸成に寄与し、関係機関連携により内容も充実することで学びの場の定着につながる効

果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

出前講座は実施されていますが、回数や参加者数に部署により差があり未実施支所もあるなど地域差の課題と併せ内容も既存参加者に偏り、新たな対象への展開や関係機関連携も不十分であることから体制の均一化と対象拡大、連携強化が今後の課題としてあげられます。

◆社会貢献活動支援を通じた企業等との連携強化と地域ニーズに応じた公益的取り組みの推進

《実施事業・取り組み》

- ・社会貢献活動支援
- ・支援を必要とする地域ニーズの把握
- ・公益的取り組みの推進
- ・活動マッチング支援

《取り組みから見られた効果》

企業・団体向けの周知チラシ作成検討により、社会貢献活動への関心喚起に向けた基盤整備が進むとともに、地域福祉への関わり方を示すことで企業等への働きかけの第一歩となり、公益的取り組みへの参画促進と連携強化の土台形成につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

周知チラシ作成検討により、関心喚起のための基盤は整備されましたが、具体的な連携強化や公益的取り組みの創出には至っておらず、ニーズと企業資源のマッチングや継続的フォロー体制の整備が今後の課題としてあげられます。

◆復興公営住宅等における生活相談支援と地域主体の見守り・支え合い体制の推進

《実施事業・取り組み》

- ・事業受託を通しての個別相談対応
- ・事業受託を通してのサロン活動支援及び地域拠点づくり支援
- ・地域特性及び社会資源把握
- ・災害時支援体制整備

《取り組みから見られた効果》

コーディネーターの配置により、個別・地域双方の相談支援が進み、課題の早期把握と関係機関連携による対応が強化されるとともに、サロンや町内会等支援でつながりと見守り体制が形成され、多職種連携と研修により専門性も向上し、孤立防止と生活安定に寄与する効果が見られ

ました。

《取り組みから見られた課題》

コーディネーターの配置により支援は進みましたが、業務増大と地区広域化で負担が増加し、継続支援に課題があり、また、住民主体活動も担い手不足や地域差が見られ、配置見直しや人材育成、連携強化が今後の課題としてあげられます。

◆住み慣れた地域での生活継続を支える生活支援体制の推進

《実施事業・取り組み》

- ・事業受託を通しての担い手連携・協力推進
- ・事業受託を通しての高齢者生活支援及び介護予防推進
- ・事業受託を通してのニーズ把握及びサロン活動支援並びに介護予防推進
- ・協議体運営

《取り組みから見られた効果》

生活支援コーディネーターの配置と第1・第2層協議体の運営により、生活支援体制の構築が進むとともに、他機関との情報共有と連携が強化され、ニーズ把握や資源活用、担い手育成が促進され、研修や周知により理解と参画も広がることで支え合いの仕組みづくりが進展する効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

協議体運営により体制整備は進みましたが、地区間で活動差や機能発揮のばらつきがあり、兼務による負担増や、機能強化と人材育成、連携深化が今後の課題としてあげられます。

◆公営住宅等における見守り・相談支援の推進と孤立防止体制の強化

《実施事業・取り組み》

- ・事業受託を通しての見守り支援及び孤立防止
- ・事業受託を通しての要配慮者支援
- ・事業受託を通しての生活相談対応

《取り組みから見られた効果》

相談支援連携員の巡回訪問と見守りにより、公営住宅等での孤立防止と支援体制が強化されるとともに、継続訪問で生活状況を把握し、早期発見・対応を実現し、関係機関連携と地域との関係づくりにより見守り基盤が強化され、安心した生活の継続に寄与する効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

見守り・相談支援は進みましたが、訪問の継続性や不在世帯対応に課題があり、潜在ニーズ把握も不十分となっており、複合課題への対応や連携の深化、地域差に応じた支援手法の確立と体制強化が今後の課題としてあげられます。

(3) ボランティア活動の推進

行政・NPO等との連携強化により支援基盤を維持しました。ボランティア講座や募金活動を通じて参加機会と担い手の育成を進めました。さらにボランティアセンター運営や連絡会の実施により調整・派遣や団体連携を強化し、地域ニーズに応じた活動推進を図りました。

◆行政・NPO等関係機関との連携促進による総合的支援の推進

《実施事業・取り組み》

- ・行政及び関係機関との連携強化
- ・中間支援組織（NPO支援オフィス等）との連携強化
- ・各種会議及び行事への参加を通しての情報共有の強化

《実施事業・取り組みから見られた効果》

NPO支援オフィスとの定期的なミーティングにより、相互に必要な情報の共有ができるとともに、相互の機関がハブ的機能を果たし、関係団体等に必要とされる情報を提供することができる効果が見られました。

《実施事業・取り組みから見られた課題》

多機関連携やネットワーク化が進みつつありますが、具体的な仕組みは構築できておらず、今後は、タイムリーな支援、活動に結びつくようにマニュアル作成や内部間の認識の共有が今後の課題としてあげられます。

◆ボランティア講座を通じた多世代参画の促進と活動機会の創出

《実施事業・取り組み》

- ・ボランティア講座実施による参加機会の創出
- ・体験機会の提供
- ・講座内容検討のためのニーズ把握

《取り組みから見られた効果》

ボランティア講座や災害ボランティア講座の実施により、住民の関心喚起と参加のきっかけづくりが進むとともに、受講後に登録し活動参加へつながる流れが生まれ、多世代の参画と担い

手の育成に寄与し、平時からの意識醸成が進むことで地域の支え合い基盤の強化につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

講座は実施されていますが、参加者が限定的で、多世代参画の拡大が課題となっており、広報や開催方法、内容整理が不十分で体系的育成や継続参加が今後の課題としてあげられます。

◆赤い羽根共同募金活動を通じた福祉理解の促進と体験機会の創出

《実施事業・取り組み》

- ・共同募金活動を通してのボランティア体験
- ・福祉について考える機会の創出及び意識啓発

《取り組みから見られた効果》

街頭募金への中学生等の参加により、福祉への関心と理解が深まり、体験を通じた学びの機会が創出されるとともに、地域住民との接点を通じて支え合い意識の醸成に寄与し、地域全体で福祉を支える意識の向上につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

体験活動も継続参加につながる仕組みが不十分なため、参加拡大、継続的関与の仕組みづくりが今後の課題としてあげられます。

◆地域ニーズに対応した機能的・機動的なボランティアセンター運営の推進

《実施事業・取り組み》

- ・ボランティアセンターの機能強化及び機動力強化
- ・ボランティアセンター強化のための研修実施
- ・ボランティアニーズ調査

《取り組みから見られた効果》

本所・支所のボランティアセンター運営委員会開催により地域実情に応じた体制を構築し、登録数や相談件数も安定してニーズ対応が図られるとともに、各支所でのボランティア調整・派遣により支援や交流機会が充実し、保険加入支援により安心して活動できる環境が整備される効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

運営基盤は維持されていますが、新たな担い手確保や活動拡充が課題となっており、登録の地

域差や分野の固定化も見られるため、センター機能の整理と認知向上が今後の課題としてあげられます。

◆ボランティア団体の連携・協働による活動基盤の強化と地域課題解決力の向上

《実施事業・取り組み》

- ・ボランティア・市民活動ができる活動の場づくり
- ・ボランティア連携推進及びネットワーク構築
- ・他機関と連携した事業実施

《取り組みから見られた効果》

他機関との連携基盤が強化されるとともに、課題の共有と共通認識が醸成され、分野横断の連携が進展し、活動の広がりや質が向上することで支え合い体制の強化に寄与する効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

連携の役割分担や仕組みも不明確で実効性に課題があり、参加団体の固定化も見られるため、多様な主体の参画促進が今後の課題としてあげられます。

（４）防災と地域福祉の連携

災害ボランティアセンターの運営体制強化に向け、関係機関との連携強化や設置運営訓練、被災地への職員派遣を実施し、地域資源の活用を視野に入れた実践的な取り組みを推進しました。これにより担い手の対応力向上と支援基盤の維持を図りました。

◆災害ボランティアセンター運営体制の強化と地域連携による安心な地域づくりの推進

《実施事業・取り組み》

- ・災害ボランティアセンター運営及び災害対応体制整備のための連携強化
- ・地域資源活用の検討及び活用を想定した設置運営訓練
- ・被災地への職員派遣

《取り組みから見られた効果》

登録ボランティアや民生委員の参加による災害ボランティアセンター運営研修を実施し、災害時の担い手としての活動と平時から災害に備える意識向上につながるとともに、昨今の災害ボランティアセンターに求められるセンター運営の在り方について職員が学ぶ機会となる効果

が見られました。

《取り組みから見られた課題》

基盤的な仕組みは維持されていますが、新たな担い手の確保・育成が課題であり、被災地支援の経験が地域体制に十分還元されていないことから、人材育成や経験活用、連携強化が今後の課題としてあげられます。

3 生活支援の充実

(1) 総合相談機能の取り組み

多機関協働による相談支援やアウトリーチの強化、地域づくり支援を推進するとともに、生活相談や地域包括支援センター事業を通じた多様な相談対応と連携体制の構築を進めました。さらに研修や会議参加により人材育成とネットワーク強化を図り、地域ニーズ把握と支援力向上に取り組みました。

◆多機関協働による包括的支援体制の構築に向けた重層的支援体制整備事業移行準備

《実施事業・取り組み》

- ・事業受託を通しての相談支援強化、アウトリーチ支援強化
- ・事業受託を通しての他機関協働
- ・事業受託を通しての地域づくり支援

《取り組みから見られた効果》

会議参画や関係課との協議を通じて情報共有と連携基盤の構築が進むとともに、研修で理解とスキルも向上し、さらに地域課題の整理と提案書作成が進むことで事業移行準備が着実に進展する効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

会議参画や研修により連携の機会は確保されていますが、今後は連携の質向上と仕組み化、実践に向けた取り組み強化が今後の課題としてあげられます。

◆意思決定支援ガイドラインの明示と継続的な運用体制の整備

《実施事業・取り組み》

- ・法人として意思決定支援の指針の明示
- ・ガイドラインの定期的な確認

《取り組みから見られた効果》

厚生労働省の意思決定支援ガイドラインを指針として明示し、職員間の判断基準の統一を図るとともに、理解の深化と実践力向上が期待され、運用体制の定着により一貫した適切な支援につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

意思決定支援ガイドラインは示されていますが、職員間で理解や実践に差が生じる恐れがあ

り、定期確認の形骸化や日常業務での活用不足、フォロー体制の不十分さもあり、実効性の確保と組織全体への定着が今後の課題としてあげられます。

◆意思決定支援の質の向上と本人主体の支援体制の強化

《実施事業・取り組み》

- ・意思決定支援に係る職員への意識啓発及び資質向上
- ・法人内研修実施及び関係研修への参加

《取り組みから見られた効果》

ガイドライン確認により、職員の意思決定支援への理解の維持・向上が図られるとともに、他法人合同研修への参加で外部の知見や事例を取り入れる機会が確保され、支援の質向上と本人主体の意思決定支援の実践につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

定期的なガイドライン確認は行われていますが、理解の深化や実践への反映に差が生じる可能性があり、また、他法人合同研修は一部部署にとどまり、全体的な広がりには課題があるため、実効性向上の工夫と研修機会の拡充が今後の課題としてあげられます。

◆地域ニーズの把握と新規事業創出に向けた重点事業の推進

《実施事業・取り組み》

- ・ニーズ把握及び調査分析
- ・地域の声、関係機関情報収集及び困難ケースの抽出
- ・ニーズの整理及びリスト化並びにスクリーニング
- ・横断的対応体制の構築

《取り組みから見られた効果》

困難ケースの抽出により地域課題の可視化とニーズ把握の基盤が形成されるとともに、検討部会との連携で具体的検討が進展し、新規事業創出や重点事業推進の体制整備が図られる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

困難ケースの抽出は行われ、事業評価や部会連携は進む一方、事業化につなぐプロセスが未確立であり、今後は分析の仕組み化と体制構築が今後の課題としてあげられます。

◆生活相談事業における身近な相談体制の構築

《実施事業・取り組み》

- ・相談者が気軽に相談できる生活相談受付体制づくり
- ・出張型相談会の実施
- ・相談内容の分析及び事例検討

《取り組みから見られた効果》

電話・来所・訪問による相談受付を継続し、利用しやすい体制を維持するとともに、多様な相談に対応し生活課題を包括的に把握し、相談会の実施により潜在ニーズの掘り起こしと機会拡充が進むことで、早期発見と身近な相談環境づくりに寄与する効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

相談体制は維持されていますが、メール等の相談手段の拡充や相談会の継続的实施が課題であり、分析結果の事業反映も弱いいため、より利用しやすい体制強化が今後の課題としてあげられます。

◆地域包括支援センターにおける相談支援体制の強化と多機関連携の推進

《実施事業・取り組み》

- ・事業受託を通しての総合相談支援、権利擁護対応
- ・事業受託を通しての包括的ケアマネジメント、介護予防ケアマネジメント
- ・事業受託を通しての多機関連携及びネットワーク構築
- ・各種会議への出席

《取り組みから見られた効果》

相談件数の増加や多様な相談対応により、住民ニーズの把握と早期対応が進むとともに、会議参加や多職種連携により支援体制が強化され、介護予防や認知症施策の推進を通じて地域全体の支援力向上と関係機関との連携深化が図られる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

相談件数や会議参加は増加していますが、ニーズの変化や潜在課題の把握は不十分であり、相談手段の多様化や連携成果の実践反映、効果の可視化や対応力強化が今後の課題としてあげられます。

(2) 介護予防の取り組み

各地区で身近な会場を活用し、介護予防支援や健康チェック、日常動作訓練、生活相談を実施するとともに、趣味・創作活動やレクリエーション等を提供しました。これにより外出機会の確保と社会参加を促進し、心身機能の維持向上と介護予防の推進を図り、安定した事業運営を実施しました。

◆高齢者の介護予防と生きがいづくりを目的としたデイサービス事業の実施

《実施事業・取り組み》

- ・事業受託を通しての介護予防支援
- ・事業受託を通しての健康チェック、日常動作訓練、生活相談
- ・事業受託を通しての集いの場、趣味活動・創作活動の場の提供
- ・事業受託を通してのレクリエーション、教養活動の提供

《取り組みから見られた効果》

各地区で身近な会場を活用し事業を継続実施することで、高齢者の外出機会確保と閉じこもり予防に寄与するとともに、交流の場として定着し社会参加が促進され、各種活動により心身機能の維持向上と介護予防が図られ、安定した運営が確認される効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

事業は定着していますが、女性中心で男性参加が少なく地区差も見られるため、参加促進や分析、プログラム充実により効果向上が今後の課題としてあげられます。

(3) 権利擁護と自立支援の取り組み

日常生活自立支援事業により金銭管理や手続支援を行い、権利擁護を推進するとともに、資金貸付や償還支援を通じた伴走型支援を実施しました。さらにフードバンク、フードドライブによる食料支援と相談対応により生活困窮者の生活安定と自立支援の充実を図りました。

◆日常生活自立支援事業による生活支援と権利擁護の推進

《実施事業・取り組み》

- ・事業受託を通しての日常的金銭管理支援
- ・事業受託を通しての収入管理（年金・手当確認）
- ・事業受託を通しての福祉サービス利用支援
- ・事業受託を通しての相談・助言・情報提供

《取り組みから見られた効果》

日常生活自立支援事業により、認知症高齢者や障害者へ金銭管理や手続支援を行い、地域での安定生活と権利擁護を推進するとともに、個別支援により自己決定の尊重と権利侵害防止を図り、広域的支援にもつながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

相談体制の充実、業務負担の調整に加え、関係機関連携による早期発見と権利擁護支援の強化が求められるものの、事業における県社協との委託契約解除後の各種対応調整が今後の課題としてあげられます。

◆資金貸付事業による相談支援の充実と生活安定・自立支援の推進

《実施事業・取り組み》

- ・貸付相談支援
- ・各種資金貸付（生活福祉・生活安定・一時援護）
- ・償還支援及び自立支援

《取り組みから見られた効果》

一時援護資金貸付では緊急時の生活安定に寄与し、他資金では件数は限定的であるものの、償還指導を通じて世帯状況の把握と相談機会を確保し、償還支援と関係機関連携により生活再建と自立支援を推進する効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

新規貸付は低調で制度周知や活用提案力に課題があり、一時援護資金に偏る傾向があり、また、償還指導や特例貸付対応の長期化で負担も増大しており、関係機関連携を強化し、個別状況に応じた継続的な生活再建支援の充実が今後の課題としてあげられます。

◆フードバンク・フードドライブによる食料支援と生活困窮者の自立支援の推進

《実施事業・取り組み》

- ・フードバンク事業、フードドライブ事業
- ・相談受付を通しての生活困窮者支援

《取り組みから見られた効果》

フードバンク・フードドライブ事業により生活困窮者へ一時的な食料支援を行い、緊急時の生活維持と自立支援に寄与するとともに、企業や住民からの提供により支え合いが進み、相談機会の創出や課題の早期把握にもつながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

支援の拡大や潜在ニーズの把握が課題であり、周知不足や連携の弱さから相談機会が十分に確保されておらず、また、一時的支援を目的としているため、関係機関等との連携による自立への継続的支援や包括的な支援体制の構築が今後の課題としてあげられます。

(4) 在宅福祉サービスの取り組み

福祉用具貸出、紙おむつ購入助成、あんしんカード設置及び移動支援車貸出を実施し、在宅高齢者や障害者の安全確保と生活の質向上を図りました。これにより在宅生活の継続と介護負担軽減を推進し、地域における在宅福祉サービスの充実と支援体制の維持に取り組みました。

◆福祉用具貸出による在宅生活支援と介護負担軽減の推進

《実施事業・取り組み》

- ・福祉用具貸出（無料貸出）
- ・在宅介護支援

《取り組みから見られた効果》

福祉用具貸出事業により介護ベッドや車椅子を提供し、在宅高齢者・障害者の安全性と利便性を向上させ、在宅生活の継続に寄与するとともに、介護者負担軽減や制度の隙間を補完する効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

令和7年度において車椅子の短期貸出のみに事業を縮小したところであり、今後の周知と、関係機関との連携強化による支援体制整備が今後の課題としてあげられます。

◆紙おむつ購入助成による在宅生活支援と経済的負担軽減の推進

《実施事業・取り組み》

- ・紙おむつ購入助成事業

《取り組みから見られた効果》

紙おむつ購入助成により重度障害者やねたきり高齢者へ継続的な経済支援を行い、在宅生活の維持と負担軽減に寄与するとともに、家族の負担軽減と在宅福祉の充実につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

助成は前年度と同様ですが、事業そのものが現在のニーズに合致しているか、事業の費用対効果等についての検証ができておらず、事業の見直しを視野に分析、検証が今後の課題としてあげられます。

◆あんしんカード設置による緊急時対応体制の強化と在宅生活の安心確保

《実施事業・取り組み》

- ・あんしんカード配付、設置
- ・見守り体制整備の推進

《取り組みから見られた効果》

あんしんカード設置により高齢者や障害者の緊急時対応体制が確保され、在宅生活の安心感向上に寄与するとともに、民生委員との連携やあんしんカード活用により迅速な情報共有と見守り体制の強化が図られる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

周知不足による潜在ニーズへの対応、また、設置後の情報更新や管理体制の検討も必要であり、関係機関連携と運用ルールの見直しによる実効性向上が今後の課題としてあげられます。

◆移動支援車貸出による在宅生活支援と介護負担軽減の推進

《実施事業・取り組み》

- ・移動支援車の貸出（河北支所）

《取り組みから見られた効果》

移動支援車貸出により高齢者や障害者の通院や社会参加機会を確保し、在宅生活の継続と生活の質向上に寄与するとともに、家族の送迎負担軽減にもつながり、在宅介護を支える支援として機能する効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

利用回数は倍増していますが、対象や利用場面の見直しや柔軟な運用、関係機関連携によるニーズ把握と手続き簡素化など、利用しやすい体制整備が今後の課題としてあげられます。

(5) 介護サービス関連の取り組み

居宅介護支援や介護予防支援、訪問介護サービスを実施し、ケアプラン作成や調整、モニタリングを通じて在宅生活の維持と自立支援を推進しました。多職種連携や会議・研修によりサービスの質向上とリスク管理体制の強化を図り、BCPに基づく継続的なサービス提供体制の整備を進めました。

◆在宅生活を支える居宅介護支援の推進と BCP に基づく安全・継続体制の強化

《実施事業・取り組み》

- ・居宅介護支援事業所の経営（石巻、渡波、河北、雄勝北上、河南桃生）
- ・ケアプラン（居宅サービス計画）の作成
- ・サービスの連絡・調整
- ・モニタリング
- ・介護保険施設の紹介その他の支援

《取り組みから見られた効果》

安定した居宅介護支援体制のもと在宅生活の維持と自立支援に寄与するとともに、ケアプラン作成や調整、モニタリングを実施し、会議や研修参加により多職種連携とサービスの質向上が図られる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

新規利用者の拡大や潜在ニーズ把握、地域差への対応が課題であり、また、会議や研修の成果の可視化や支援への反映、体制強化が今後の課題としてあげられます。

◆介護予防支援の推進と BCP に基づく安全・継続体制の強化

《実施事業・取り組み》

- ・地域包括支援センター事業の受託及びセンター経営（渡波、北上）
- ・ケアプラン（介護予防サービス計画）の作成
- ・サービスの連絡・調整
- ・モニタリング
- ・介護保険施設の紹介その他の支援

《取り組みから見られた効果》

要支援者へのケアプラン作成とサービス調整を継続し、在宅生活の維持と重度化予防に寄与するとともに、関係機関連携により状態変化に応じた支援を実施し、支援基盤の強化が図られる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

新規利用者の拡大や潜在ニーズ把握が課題で、センター間の利用差解消と周知強化が必要であり、支援の質向上や重度化予防に加え、実効性ある体制整備が今後の課題としてあげられます。

◆訪問介護・訪問型サービスの提供による在宅生活支援の推進と BCP に基づく安全・継続体制の強化

《実施事業・取り組み》

- ・訪問介護事業、訪問型サービスの事業実施及びサービス提供並びにセンター経営
- ・介護保険法に基づく訪問介護サービス提供
- ・石巻市介護予防・日常生活支援総合事業に基づく訪問型サービス提供

《取り組みから見られた効果》

訪問介護・訪問型サービスにより在宅生活の維持と自立支援に寄与し、継続支援で状態変化の早期把握と関係機関連携による適切な対応を図るとともに、生活の質向上と重度化防止につながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

新規利用者の獲得や潜在ニーズ把握が課題であり、重度化・多様化に対応する人材確保と専門性向上、関係機関連携と周知強化が今後の課題としてあげられます。

◆法人内介護・障害福祉サービス事業所における各種会議の開催による連携強化と運営・リスク管理体制の推進

《実施事業・取り組み》

- ・管理者会議の開催
- ・感染対策委員会の開催

《取り組みから見られた効果》

管理者会議と感染対策委員会の定期開催により、運営状況や課題の共有が進み組織連携が強化されるとともに、研修や訓練の振り返りで運営基盤が整備され、感染対策の実践力とリスク管理意識が向上し、継続的なサービス提供体制の強化に寄与する効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

会議により情報共有と連携は図られていますが、協議内容・研修成果の運営改善への反映の

ばらつきや感染症・災害対応の理解や実践にも差があり、迅速対応に向けた体制強化が今後の課題としてあげられます。

（６）障害福祉サービス関連の取り組み

障害者居宅介護や移動支援、就労継続支援B型、地域活動支援センター事業を実施し、在宅生活支援や外出機会の確保、就労機会と社会参加の促進を図りました。各種支援を通じて自立支援と生活の質向上に寄与するとともに、BCPに基づく安全で継続可能な支援体制の強化を推進しました

◆障害者居宅介護サービスの提供による在宅生活支援の推進と BCP に基づく安全・継続体制の強化

《実施事業・取り組み》

- ・障害者総合支援法に基づく居宅介護（ホームヘルプ）
- ・居宅における、食事や入浴等の介護、調理、洗濯、買い物等の家事、生活等に関する相談や助言等、生活全般にわたる援助

《取り組みから見られた効果》

障害者居宅介護サービスにより安定した支援体制のもと在宅生活の継続に寄与するとともに、身体介護や生活援助、相談支援を通じ自立支援と生活維持を図り、関係機関連携により重度化防止につなげる効果も見られました。

《取り組みから見られた課題》

新規利用者の拡大や潜在ニーズ把握が課題です。周知や相談体制の強化に加え、人材確保と専門性向上連携強化が今後の課題としてあげられます。

◆障害者移動支援サービスの提供による外出機会の確保と在宅生活支援の推進及び BCP に基づく安全・継続体制の強化

《実施事業・取り組み》

- ・障害者総合支援法に基づく移動支援
- ・屋外での移動が困難な障害のある方等に対しての外出時の介助、支援

《取り組みから見られた効果》

安定した体制で外出機会を確保するとともに、在宅生活の継続と生活の質向上に寄与し、社会的孤立の防止や心身機能の維持にもつながる効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

新規利用者の拡大や潜在ニーズ把握が課題であり、周知や相談体制の強化、利用条件の見直しに加え、多様なニーズへの対応や人材確保が今後の課題としてあげられます。

◆就労継続支援B型事業による就労機会の提供と社会的自立支援の推進並びに BCP に基づく安全・継続体制の強化

《実施事業・取り組み》

- ・就労継続支援B型事業所の経営（みどり園、かしわホーム）
- ・障害や難病等のため、雇用契約を締結し働くことが困難な方に対しての、生産活動を通じて就労訓練等
- ・生産活動（働く機会の提供・作業支援）
- ・社会適応訓練（社会的自立に必要な知識の習得支援）

《取り組みから見られた効果》

継続的な就労機会を提供するとともに、生産活動や調理実習により作業能力や生活技能の向上を図り事業を継続することで、生活リズムの維持と安定した支援体制の確保に寄与する効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

新規利用者確保や潜在ニーズ把握とともに、高齢化や多様化への対応、生産活動の安定確保と工賃維持、社会適応訓練の機会拡充が今後の課題としてあげられます。

◆地域活動支援センター事業による社会参加機会の提供と自立支援の推進並びに BCP に基づく安全・継続体制の強化

《実施事業・取り組み》

- ・地域活動支援センターの経営（みどり園、かしわホーム）
- ・障害によって就労が困難な人に対して、創作的活動、生産活動、地域社会との交流促進等の機会を提供
- ・創作的活動（音楽・工作等楽しみにつながる活動支援）
- ・生産活動（働く機会の提供・作業支援）
- ・社会適応訓練（社会的自立に必要な知識の習得支援）
- ・機能訓練（運動等による体力維持の支援）
- ・社会交流

《取り組みから見られた効果》

地域活動支援センター事業は利用者数が前年度並みで安定運営を維持し、社会参加機会を提供するとともに、創作・生産活動や社会適応訓練により生活リズム維持や技能習得を支援し、感染対策下でも活動を継続することで安定した支援体制の確保に寄与する効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

利用者数は前年度並みで安定していますが、新規利用者の確保や潜在ニーズ把握が不十分であるとともに、地域差を考慮した利用の周知や、ニーズ多様化への対応と活動充実が今後の課題としてあげられます。

(7) 児童福祉サービス関連の取り組み

育児ヘルパー派遣や子育て世帯訪問支援を実施し、家事・育児支援により産前産後の負担軽減と養育不安の軽減を図り、安心して子育てできる環境づくりを推進しました。母親の心身の安定と家庭生活の維持に寄与し、必要な家庭への支援提供を通じて養育環境の安定と地域の子育て支援基盤の強化を図りました。

◆育児ヘルパー派遣による産前・産後家庭の負担軽減と安心した子育て支援の推進及び BCP に基づく安全・継続体制の強化

《実施事業・取り組み》

- ・育児ヘルパー事業の受託及び事業実施
- ・産前・産後の大変な時期の母親に対し、家事や育児等の負担軽減、心身を癒し、安心して子育てができるようにサポート
- ・家事（調理・洗濯・住居内の掃除・生活必需品の買い物等）
- ・育児（おむつ交換・衣服の着脱・授乳・沐浴の介助等）

《取り組みから見られた効果》

事業の継続実施により産前・産後の負担軽減を図り、安心して子育てに取り組める環境づくりに寄与するとともに、家事援助や育児支援により母親の心身の安定と家庭生活の維持に貢献し、地域の子育て支援基盤として機能する効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

周知不足や心理的・制度的ハードルにより支援が届いていない可能性があり、連携強化と周知、支援内容の見直しによる体制強化が今後の課題としてあげられます。

◆子育て世帯訪問支援による養育不安の軽減と家庭支援の充実及び安全・継続的な支援体制の推進

《実施事業・取り組み》

- ・子育て世帯訪問支援事業の受託及び事業実施
- ・育児ストレス、産後うつ病、育児ノイローゼ等の問題によって、子育てに対して不安や孤立感等により養育の支援が必要と認められる児童・保護者のいる家庭を対象とした家事、育児等の支援
- ・家事（調理・洗濯・住居内の掃除・生活必需品の買い物等）
- ・育児（おむつ交換・衣服の着脱・授乳・沐浴の介助等）

《取り組みから見られた効果》

事業の継続実施により家事・育児支援を通じて養育不安やストレス、孤立感の軽減を図り、安心して子育てできる環境づくりに寄与するとともに、必要な家庭へ適切に支援を提供し、養育環境の安定と保護者の負担軽減に貢献する効果が見られました。

《取り組みから見られた課題》

新規対象把握や潜在ニーズの掘り起こしが不十分で支援につながらない家庭が課題であり、周知と関係機関連携による早期把握、支援内容の充実と体制整備が今後の課題としてあげられます。